

三菱自動車工業株式会社

株主のみなさまへ



平成 21 年度 (2009 年度) のご報告
2009 年 4 月 1 日 ~ 2010 年 3 月 31 日

株主通信 ROUTE

Drive@earth



ごあいさつ



取締役社長

益子 修

目次

ごあいさつ	1
決算の概要	2
重点施策	4
EV時代をリードする「i-MiEV」	5
世界戦略車の新型コンパクトSUV 「RVR」を発売	7
今ならエコカーの購入が大変お得	9
財務諸表(連結)	11
財務諸表(単独)	13
会社の概要	13
役員/株主メモ	14

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

2009年度(2009年4月1日から2010年3月31日まで。以下、当年度)の世界経済は、1年以上続いた混乱も最悪期を脱し、各国政府による経済対策などにも支えられ、緩やかな回復に向かいました。しかし、自動車需要の力強い回復を実感するにはほど遠く、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続いております。このような中、当社は、在庫の適正化に努めるとともに回復基調にある市場へは出荷を促進し、さらに徹底した費用削減を推進した結果、売上高こそ減少したものの、利益項目はすべて前年度実績を上回りました。特に当期利益においては黒字転換を果たし、期初に設定した目標を達成することができました。

しかしながら、配当につきましては、株主の皆さまには大変申し訳なく存じますが、当年度も実施を見送らせていただきました。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2010年度は、設立40周年という節目の年であると同時に、中期経営計画「ステップアップ2010」の最終年でもあります。今回の経済危機を契機に世界で起きた自動車需要の構造変化に的確に対応し、「選択と集中の深掘り」「安定収益の確保」、そして次期中期計画へ向けた「成長への基盤づくり」に引き続き取り組んでまいります。

どうか皆さまにおかれましても、今後とも倍旧のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

三菱自動車企業理念

大切なお客様と社会のために、走る喜びと確かな安心を、
こだわりをもって、提供し続けます。

当社は三菱グループ共通の経営指針である「三綱領」*の精神を受け継ぐとともに、当社の存在意義と進むべき方向を明確にするため、「三菱自動車企業理念」を制定しています。全ての企業活動はこの企業理念に基づいて進めています。

*「所期奉公」、「処事光明」、「立業貿易」

期初目標の当期利益黒字化を達成

2009年度の業績は、上半期の販売台数の落ち込みが大きく、さらに為替の円高影響も加わり、連結売上高が1兆4,456億円(前年度比27%減)となりましたが、営業利益は、その悪化要因を全社を挙げた費用の削減や資材費などのコスト低減で打ち返し、前年度を100億円上回る139億円となりました。さらに経常利益は、前年度比279億円改善し、130億円と黒字化するとともに、当期利益も前年度比597億円改善の48億円

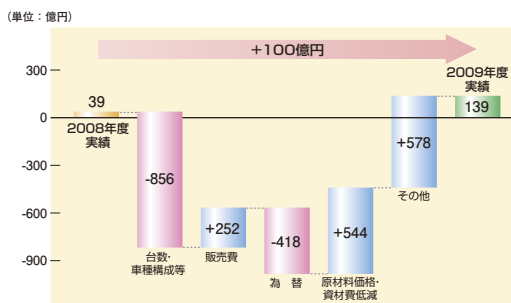
となり、期初目標の当期利益黒字化を達成しました。

一方、全世界の販売台数は、前年度比10%減少しましたが、四半期ごとに販売台数は増加し、期初の公表値93万2千台を2万8千台上回る、96万台となりました。自動車市場では経済危機に伴い需要の低迷が続きましたが、エコカー減税等の恩恵を受けた日本、景気拡大が続く中国、さらにタイ、フィリピン、オーストラリア等で前年度を上回ることができました。

2009年度実績 (前年度比)

	2008年度 実績①	2009年度 実績②	差 ② - ①	2009年度 計画 (2008年4月27日公表値)
売上高	19,736	14,456	↓△5,280	15,000
営業利益	39	139	↑+100	300
経常利益	△149	130	↑+279	150
当期利益	△549	48	↑+597	50
販売台数(小売)	1,066	960	↓△106	932

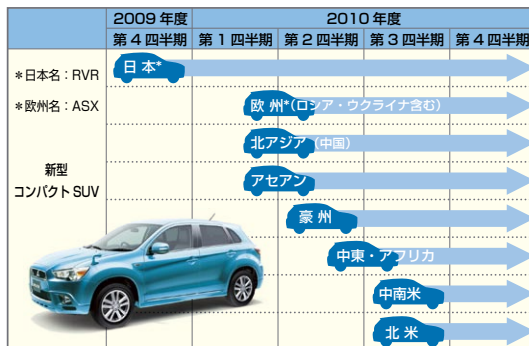
2009年度営業利益 変動要因分析 (前年度比)



販売台数の増加とコスト低減強化で 増収・増益を目指す

2010年度の販売台数は、各国政府による経済対策の終了に伴う需要の反動減も想定されますが、各地域の景気回復、特に新興国の力強い回復を織り込むとともに、グローバルに展開する新型「RVR」の投入効果を加え、全体では前年度に対し16万1千台増加(前年度比17%増)の112万1千台を計画しています。原材料価格の上昇や円高を前提とした引き続き厳しい経営環境ではありますが、販売台数の上乘せに加え、コスト低減強化を図ることで、売上高は1兆9,000億円(前年度比31%

増)、営業利益は450億円(同223%増)、経常利益は300億円(同131%増)、当期利益は150億円(同215%増)と増収・増益の計画としました。

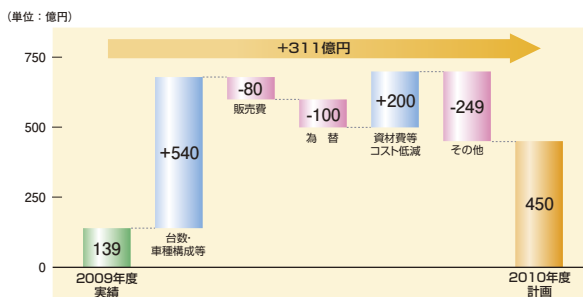


2010年度業績見通し (前年度比)

	2009年度 実績①	2010年度 計画②	差 ② - ①
売上高	14,456	19,000	▲ +4,544
営業利益	139	450	▲ +311
経常利益	130	300	▲ +170
当期利益	48	150	▲ +102
販売台数(小売)	960	1,121	▲ +161

(単位: 億円、千台)

2010年度営業利益見通し 変動要因分析 (前年度比)

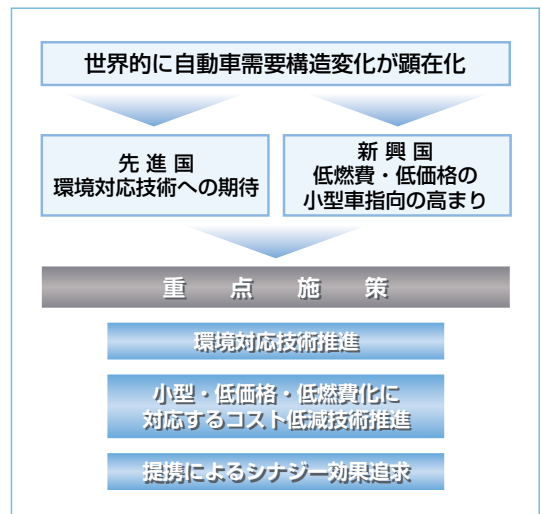


「ステップアップ2010」の仕上げの年、成長に向けた基盤を整備

2010年度は、中期経営計画「ステップアップ2010」の最終年、仕上げの年です。当計画のスタート直後に発生した経済混乱も最悪期を脱し、世界経済は緩やかな回復に向かっています。しかし、この経済危機を契機に自動車市場の需要構造は明らかに変化しました。それは、先進国を中心とした「環境意識の高まりに伴う環境対応技術への期待」と、新興国を中心とした「低燃費・低価格で経済性に優れた小型車指向の高まり」です。当社は、新世代電気自動車「i-MiEV」を2009年7月に投入し、EV*時代を切り開くとともに、2010年2月には当社が得意とする4WD技術にコスト低減技術を織り込んだ新型コンパクトSUV「RVR」を投入し、需要構造の変化にいち早く対応しています。環境対応技術と小型・低価格・低燃費を実現するコスト低減技術の両立は大変困難な挑戦です。当社では今年度から副社長を2名体制とし、「事業戦略本部」と「コスト改革統括室」を新設しました。

これにより、新たな需要構造の中で、競争力の強化を目的とした協業ニーズの高まりにタイムリーに対応すると同時に、資材費低減活動の更なる強化と、低減活動の範囲を拡大させたコスト改革に取り組む体制としました。企業体質の強化及び事業収益の向上に取り組み、成長に向けた基盤を確立してまいります。

* EV:Electric Vehicle（電気自動車）



EV時代をリードする「i-MiEV」

三菱自動車が、新世代電気自動車「i-MiEV（アイ・ミーブ）」を2009年7月に投入してから1年が経ちます。この1年間、社会やお客様の関心は、電気自動車やハイブリッド自動車など、環境をキーワードにした自動車へ大きくシフト。「i-MiEV」は、国内で約1,400台を自治体や法人向けに販売するとともに、今年4月から個人の皆様にも販売を開始するなど、着実に電気自動車の時代をリードしています。

i MiEV



メーカー希望小売価格を398万円に

三菱自動車は、2010年4月から個人向けにも販売を開始し、同時にメーカー希望小売価格を61万9千円引き下げ398万円と

しました。2010年度の政府補助金として1台あたり114万円の交付を受けられ、実質の車両本体価格は284万円となります。

メンテナンスリースプランを導入

2010年5月、三菱UFJリース株式会社との合弁会社であるMMCダイヤモンドファイナンス株式会社は、「i-MiEV」に対する政府の補助金交付金額が確定したことを受けて、メンテナンスリースの支払いプランを決定しました。このリースプランでは、一時払いリース料と月々のリース料の組み合わせを複数パターン設定し、お客様の様々な

ニーズに対応しています。例えば233万1千円*1を一時払いリース料としてお支払いいただければ、月額リース料が7,000円となり、電気代*2と合わせても、ひと月に1万円程度（「i（アイ）」のガソリン代程度*2）の費用でお乗りいただけます。

- *1: 軽乗用車「i（アイ）」の「T」グレードのガソリン代を除く5年間の費用（車両代・税金・点検・車検代など）相当
- *2: 1,000km/月走行を想定した、充電のための電気料金およびガソリン代

「i-MiEV」 試乗会のご報告

2010年4月、全国4地区で行なった株主様試乗会にたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。試乗された株主の皆様からは、電気自動車特有の加速の良さや静かさに対する評価など、さまざまなご意見をいただきました。

まだ試乗されていない方は、是非お近くの販売店へお問い合せください。



本社で行なわれた試乗会の様子

EVポータルサイト

「i-MiEV」を中心としたEVに関する総合情報ポータルサイトです。ぜひご覧ください。

<http://www.ev-life.com/>



世界各国から高い評価

「i-MiEV」は、AUTOBEST (オートベスト)* により、環境対応車に与えられる最も歴史のある賞の一つである「ECOBEST (エコベスト) 2009」に選出されました。

さらに、ドイツの自動車専門誌『Auto Motor und Sport (アウト モーター ウント シュポルト)』誌の技術賞「パウルピーチ賞」を受賞。フランス・パリで開催された「第25回国際自

動車フェスティバル」で「環境技術賞」を受賞するなど、国内の受賞に続き海外でも高い評価を得ています。



パウルピーチ賞の授賞式
オストマン編集長(左)と上杉常務(右)

* 欧州の新興国を中心とした自動車雑誌の編集員や自動車ジャーナリストで組織

世界に広がる「i-MiEV」

2010年3月には、PSA プジョー・シトロエン社(以下、PSA)と、「i-MiEV」をベースとした電気自動車の開発・供給に関する最終契約を締結しました。PSAは、三菱自動車より欧州向け電気自動車の供給を受け、プジョー・ブランドとシトロエン・ブランドで本年末から販売を開始する計画です。

	2009年度 販売実績：1.6千台	2010年度 販売計画：9千台	2011年度 販売計画：18千台
日本	09年度販売実績：1.4千台	10年度販売計画：4千台	
	フリート販売		
	09年7月～	一般販売	
海外	09年度販売実績：0.2千台	10年度販売計画：5千台	
	09年秋～	右ハンドル車(香港、イギリス他)	
		欧州(左ハンドル市場含む)	
		PSAプジョー・シトロエン社向け	
			北米

「i-MiEV」がタクシーとして全国で活躍中

環境にやさしく地域に特化したコミュニティータクシーとして「i-MiEV」が活躍しています。

タクシーとしての使用が原則認められていなかった軽自動車ですが、環境対策推進の観点から電気自動車であれば導入が認められることに。

「i-MiEV」タクシーは、国内で初めて導入した松山市をはじめ、柏崎市、岡山市、京都市、東京都などでお乗りいただけます。

※詳しくは三菱自動車ウェブサイト「EVポータル」で紹介しています。



日の丸リムジンの「ゼロタクシー」(東京)

世界戦略車の新型コンパクトSUV 「RVR」を発売



RVR

三菱自動車は、2010年2月、「優れた多用途性能と走行性能」「エコカー減税にも適合する優れた環境性能」「上質感のある内外観」をコンパクトなボディサイズで実現し、「お求め易い価格」で提供する、新しい時代に相応しい、ジャストサイズの新型コンパクトSUV「RVR（アールブイアール）」を発売しました。

新型「RVR」は、優れた燃費性能を発揮するとともに、SUVならではの見晴らしの良いアイポイントで「運転のし易さ」と、軽量でコンパク

トなボディによる「取り回し易さ」を実現。また、日常生活からレジャーまで、幅広い用途に対応する十分なスペースユーティリティをあわせ持つ新時代のコンパクトSUVです。

三菱自動車では、新型「RVR」を世界戦略車と位置づけ、日本での発表に続き、欧州、北米も含めグローバルに展開していきます。日本では、発売1カ月後の累計受注台数が、目標月間販売台数(1,500台)の3倍を上回る5,169台に達し、高い評価を得ています。

「RVR」は、全車エコカー減税対象車

減速エネルギー回生システム*（高効率発電制御）や、電動パワーステアリング、空力性能の向上をはじめ細部にわたる低燃費技術を採用し、2WD車で15.2km/L（10・15モード燃料消費率）、4WD車で15.0km/Lと、クラストップレベルの燃費性能を実現。平成17年基準排出ガス75%低減レベル（☆☆☆☆）、平成22年度燃費基準+15%を達成し、新型「RVR」全車がエコ



カー減税（環境対応車普及促進税制：50%軽減）に適合しています。

*：減速時のエネルギーで発電した電気をバッテリーに集中充電。アイドリングや走行中に、蓄えた充電分を消費するまで発電を抑制。その間は発電機を駆動するためのエンジン負担が軽減され、燃費性能の向上へ貢献するシステム。

●G 2WD CVTの例

<p>エコカー減税 (自動車取得税+自動車重量税)</p> <p>50%減税</p> <p>-69,400円</p>	+	<p>エコカー購入補助 (経年率の廃車を伴う新車購入補助)</p> <p>-250,000円</p> <p>※2010年9月30日まで</p>	=	<p>優遇金額</p> <p>-319,400円</p>
		<p>エコカー購入補助 (新車購入補助(経年率を廃車しない場合))</p> <p>-100,000円</p> <p>※2010年9月30日まで</p>	=	<p>優遇金額</p> <p>-169,400円</p>



フロントフェンダーには、柔軟性・復元性の高い樹脂フェンダーを採用し、車体の軽量化と耐衝撃性を向上。



フロントマスクに三菱自動車のデザインアイデンティティである「ジェットファイターグリル」を採用。ボディカラーは清流に生息する翡翠(カワセミ)の羽の色をイメージした「カワセミアブルーメタリック」など全8色展開。

新型コンパクトSUVを海外のモーターショーで披露

三菱自動車は、2010年度にグローバルに展開する「RVR（欧州名ASX（エーエスエックス）」）を2010年3月、第80回ジュネーブ国際自動車ショーを皮切りに、ニューヨーク国際自動車ショー、北京国際自動車ショーに出展し、世界戦略車として紹介しました。

ジュネーブ国際自動車ショーで「ASX」を紹介する益子社長



今ならエコカーの購入が大変お得

2010年4月1日から自動車に関する税制が改正され、自動車重量税が引き下げに。また、自動車税のグリーン税制も延長され、既に延長されているエコカー補助金制度とあわせ環境対応車の購入が大変お得になっています。



三菱自動車におけるエコカー減税と補助金の概要 (自家用自動車の場合)

この期日までに適合車を購入すると**補助金と減税、両方の優遇**が受けられます！

	平成22年 4月1日	平成22年 9月30日	平成24年 3月31日	平成24年 4月30日
エコカーの補助金 ※1	廃車(13年以上経年)を伴う新車(平成22年度燃費基準達成車)の購入	補助金額 登録車 25万円 軽自動車 12.5万円		
	排出ガス性能4★※2かつ平成22年度燃費基準+15%以上	補助金額 登録車 10万円 軽自動車 5万円		
エコカーの減税	電気自動車 or 天然ガス車 →100%減税 排出ガス性能4★※2かつ平成22年度燃費基準+25%以上 →75%減税 排出ガス性能4★※2かつ平成22年度燃費基準+15%以上 →50%減税	自動車取得税※3 100% or 75% or 50% 減税		
		自動車重量税※4 100% or 75% or 50% 減税		
グリーン税制	排出ガス性能4★※2かつ平成22年度燃費基準+25%以上	自動車税※5 (軽自動車税は除く) 概ね50%軽減		

※1 補助適用期間は平成21年4月10日～平成22年9月30日までに新規登録・届出された場合。

国によるその他の補助制度と重複して補助金を受けとることはできません。新規登録・届出後の使用期間は1年以上(1年未満は補助金返納となります)

※2 平成17年基準排出ガス75%低減レベル達成車

※3 自動車取得税は、地域により運用が異なりますので、減税額が異なる場合があります。

※4 暫定税率の改正により自動車重量税の税率が引き下げられました。(平成22年4月1日より施行。18年超の経年車は除く)

※5 一部が改正され、適用期間が2年延長されました。購入翌年度の自動車税が減税されます。

三菱自動車の対象車種など詳しくはお近くの販売店またはお客様相談センターへお問合せください。

カタログのご請求・お近くの販売店検索は…

三菱自動車 お客様相談センター



0120-324-860

月～金:9時～17時

土・日:9時～12時・13時～17時

主なエコカーの優遇金額

優遇金額は購入時の自動車取得税・重量税の軽減額と補助金を合わせた額です。
 (注)補助金は2010年9月30日まで(政府予算枠に達したら終了となります)

車名 i
(アイ) 50%
減税 減税率



G VIVACE (2WD) 優遇 最大 146,400円
 又は 71,400円

優遇金額 = 減税 + 補助金
 上段: 経年車の廃車を伴う場合
 下段: 経年車の廃車を伴わない場合

グレード

OUTLANDER (アウトランダー)



50%
減税

G 20MS (2WD) 優遇 366,800円
 又は 216,800円

RVR (アールブイアール)



50%
減税

G G (4WD) 優遇 325,000円
 又は 175,000円

DELICA B:S (デリカ ディーファイブ)



50%
減税

G G-Power (4WD) 優遇 393,100円
 又は 243,100円

COLT (コルト)



50%
減税

G Clean Air Edition (2WD) 優遇 322,400円
 又は 172,400円

i (アイ)



50%
減税

G VIVACE (2WD) 優遇 146,400円
 又は 71,400円

EK WAGON (イーケー・ワゴン)



50%
減税

G MX (2WD) 優遇 143,800円
 又は 68,800円

Toppo (トッポ)



50%
減税

G M (2WD) 優遇 144,200円
 又は 69,200円

(注) ●自動車取得税、自動車重量税の軽減額は、オプションを含まない車両重量、メーカー希望小売価格をベースにしています。その他の対象グレードと減税額など、詳しくはお近くの販売店におたずねください。
 ●掲載の内容は2010年6月現在のものです。

www.mitsubishi-motors.co.jp/purchase/

携帯電話からも
 お近くの販売店を
 検索できます



財務諸表(連結)

連結貸借対照表

資 産			負債及び純資産		
科 目	前年度末 (平成21年3月31日現在)	当年度末 (平成22年3月31日現在)	科 目	前年度末 (平成21年3月31日現在)	当年度末 (平成22年3月31日現在)
	百万円	百万円		百万円	百万円
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	167,841	264,323	支払手形及び買掛金	155,600	265,028
受取手形及び売掛金	89,607	121,385	短期借入金	223,026	319,374
販売金融債権	30,596	22,139	1年内償還予定の社債	25,600	200
たな卸資産	189,120	183,869	その他	215,866	188,674
短期貸付金	608	251	流動負債合計	620,093	773,278
繰延税金資産	1,398	2,007	固定負債		
その他	69,298	89,548	社債	200	-
貸倒引当金	△7,528	△10,448	長期借入金	104,579	73,174
流動資産合計	540,943	673,077	その他	190,112	177,738
			固定負債合計	294,891	250,913
固定資産			負債合計	914,985	1,024,191
有形固定資産	439,936	408,234	(純資産の部)		
無形固定資産	16,436	12,435	株主資本		
投資その他の資産	140,693	164,922	資本金	657,350	657,355
固定資産合計	597,066	585,592	資本剰余金	432,661	432,666
			利益剰余金	△770,750	△765,988
資産合計	1,138,009	1,258,669	自己株式	△14	△15
			株主資本合計	319,246	324,017
			評価・換算差額等	△105,795	△99,832
			少数株主持分	9,573	10,293
			純資産合計	223,024	234,478
			負債純資産合計	1,138,009	1,258,669

資 産 合 計: 前年度末から 1,207 億円増加 手元資金を重視する施策による現金預金の増加と販売回復による売上債権の増加が主因。

負 債 合 計: 前年度末から 1,092 億円増加 生産の回復による仕入債務の増加と必要資金の調達による借入金の増加が主因。

純資産合計: 前年度末から 115 億円増加 当期利益の黒字化による増加が主因。

連結損益計算書

科 目	前年度	当年度
	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
	百万円	百万円
売上高	1,973,572	1,445,616
売上原価	1,663,121	1,211,635
売上総利益	310,451	233,980
販売費及び一般管理費	306,524	220,060
営業利益	3,926	13,920
営業外収益	7,603	17,020
営業外費用	26,455	17,960
経常利益(△は損失)	△14,926	12,980
特別利益	4,493	3,859
特別損失	43,284	5,248
税金等調整前当期純利益(△は損失)	△53,717	11,591
法人税等合計	1,111	4,290
少数株主利益	55	2,542
当期純利益(△は損失)	△54,883	4,758

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前年度	当年度
	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	△93,335	100,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,789	△22,325
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,983	30,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,793	△584
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△206,902	108,688
現金及び現金同等物の期首残高	360,902	154,666
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	666	25
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	73
現金及び現金同等物の期末残高	154,666	263,453

財務諸表(単独)

貸借対照表

科 目	前年度末(平成21年3月31日現在)	当年度末(平成22年3月31日現在)
(資産の部)	百万円	百万円
流動資産	335,099	483,981
固定資産	484,891	482,909
資産合計	819,991	966,890
(負債の部)		
流動負債	448,163	670,919
固定負債	223,139	178,701
負債合計	671,303	849,621
(純資産の部)		
株主資本	147,512	111,837
評価・換算差額等	1,175	5,431
純資産合計	148,688	117,268
負債純資産合計	819,991	966,890

損益計算書

科 目	前年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	当年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
	百万円	百万円
売上高	1,492,179	1,148,847
売上総利益	142,383	82,514
営業利益(△は損失)	△17,709	△28,285
経常利益(△は損失)	△16,933	△26,076
税引前当期純利益(△は損失)	△72,542	△36,773
当期純利益(△は損失)	△71,681	△35,684

会社の概要 (平成22年3月31日現在)

社 名	三菱自動車工業株式会社	発行可能株式総数	9,961,597,000株
本 社	〒108-8410 東京都港区芝五丁目33番8号 TEL: 03-3456-1111 (大代表)	(内訳) 普通株式	9,958,285,000株
設 立	昭和45年4月22日	A種優先株式	438,000株
従業員数	連結: 31,003名 単独: 13,554名 ※上記は休職派遣者を含み、執行役員および準社員は含みません。	B種優先株式	374,000株
資 本 金	657,355,059,926円	C種優先株式	500,000株
		D種優先株式	500,000株
		E種優先株式	500,000株
		F種優先株式	500,000株
		G種優先株式	500,000株
		発行済株式総数	5,538,394,433株
		(内訳) 普通株式	5,537,956,840株
		A種優先株式	99,000株
		G種優先株式	338,593株
		株 主 数	普通株式 413,917名
			A種優先株式 12名
			G種優先株式 4名

役員 (平成22年6月23日現在)

取締役	西岡 喬*	取締役会長(三菱重工業株式会社相談役)	監査役	氏田 憲秀	監査役(常勤)
	益子 修*	取締役社長		村本 修三	監査役(常勤)
	前田 真人*	取締役副社長		三木 繁光	監査役(株式会社三菱東京UFJ銀行特別顧問)
	市川 秀*	取締役副社長		岡本 行夫	監査役(株式会社岡本アソシエイツ代表取締役)
	春成 敬	常務取締役		河本雄二郎	監査役(三菱重工業株式会社取締役、常務執行役員)
	相川 哲郎	常務取締役			
	青砥 修一	常務取締役			
	上杉 雅勇	常務取締役			
	太田 誠一	取締役			
	黒田 浩	取締役			
	二木 史郎	取締役			
	佐々木幹夫	取締役(三菱商事株式会社取締役会長)			
	矢嶋 英敏	取締役(株式会社島津製作所相談役)			

- (注) 1. *印は代表取締役を示しています。
2. 取締役 佐々木幹夫氏および矢嶋英敏氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
3. 監査役 三木繁光氏、岡本行夫氏および河本雄二郎氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株主メモ

■ 事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
■ 定時株主総会開催日	6月
■ 同総会議決権行使株主確定日	3月31日
■ 期末配当金支払株主確定日	3月31日
■ 中間配当金支払株主確定日	9月30日
■ その他の基準日	上記のほか必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
■ 公告の方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは東京都内において発行する日本経済新聞に掲載して行います。 (公告掲載アドレス) http://www.mitsubishi-motors.com/jp/corporate/ir/stockinfo/koukoku.html
■ 1単元の株式数	普通株式は1,000株 優先株式は1株
■ 証券コード	7211
■ 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
■ 郵便物送付先・電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711 (フリーダイヤル)

※住所変更、単元未満株式買取請求、その他各種手続き等のご請求について

1. 証券会社等の口座をご利用の場合・・・お取引の証券会社等にお問合せください。
2. 「特別口座」に登録されている場合・・・三菱UFJ信託銀行株式会社(TEL:0120-232-711)にお問合せください。

三菱自動車ウェブサイト投資家情報ページ

当社ウェブサイト内の投資家情報ページをリニューアルしました。
株主の皆さま向けのコーナーも設けていますので、ぜひご活用ください。

http://www.mitsubishi-motors.com/publish/ir_jp/index.html



株主通信 ROUTE

三菱自動車工業株式会社
平成21年度(2009年度)のご報告

広報部 平成22年6月23日発行
〒108-8410 東京都港区芝五丁目33番8号
TEL:03-3456-1111 (大代表) <http://www.mitsubishi-motors.co.jp>